

DRUG

INFORMATION

2005 No. 16

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室（内線7083）

平成17年9月2日発行

目 次

- 1 . 医薬品の採用・採用中止について 1
 - 平成 17 年 9 月 1 日薬事委員会結果報告 -
- 2 . 新規院内処方医薬品添付文書情報 4

Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@cc.gifu-u.ac.jp

医薬品の採用・採用中止について - 平成 17 年 9 月 1 日薬事委員会結果報告 -

院内新規試用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
ゼローダ錠(カペシタピン)	300mg/錠	抗悪性腫瘍剤	中外
タケブロン OD 錠(ランソプラゾール)	30mg/錠	プロトンポンプ阻害剤	武田
ブイフェンド錠(ポリコナゾール)	50mg, 200mg/錠	深在性真菌症治療剤	ファイザー
イムノブラダー勝注用(乾燥 BCG)	40mg/V	抗悪性腫瘍剤	日本 BCG
キューバール 50 エアゾール(プロピオン酸ベクロメタゾン)	8.7g/本	吸入ステロイド喘息治療剤	大日本
動注用アイエーコール(シスプラチン)	50mg/V	抗悪性腫瘍剤	日本化薬
アデノスキャン注(アデノシン)	60mg/20mL/V	心臓疾患診断補助剤	第一
オルガラン注(ダナパロイドナトリウム)	1,250 単位/1mL/A	血液凝固阻止剤	オルガノン
ハーセプチン注射用(トラスツズマブ)	150mg/V	抗悪性腫瘍剤	中外
ブイフェンド静注用(ポリコナゾール)	200mg/V	深在性真菌症治療剤	ファイザー

院内採用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アイトロール錠(一硝酸イソソルビド)	20mg/錠	狭心症治療剤	トーアエイヨー
イミグラン錠(コハク酸スマトリプタン)	50mg/錠	片頭痛治療剤	GSK
エピスタ錠(塩酸ラロキシフェン)	60mg/錠	骨粗鬆症治療剤	中外
オプソ内服液(塩酸モルヒネ)	5mg/2.5mL/包	癌疼痛治療剤	大日本
ムコスタ顆粒(レバミピド)	200mg/g	胃炎・胃潰瘍治療剤	大塚
リパロ錠(ピタバスタチンカルシウム)	2mg/錠	HMG-CoA 還元酵素阻害剤	興和
カデックス軟膏(ヨウ素)	[0.9%] 40g/本	褥瘡・皮膚潰瘍治療剤	スミス・アンド・ネフュー
キューバール 100 エアゾール(プロピオン酸ベクロメタゾン)	8.7g/瓶	吸入ステロイド喘息治療剤	大日本
スピリーバ吸入用カプセル(臭化チオトロピウム水和物)	18μg/Cp	長時間作用型吸入気管支拡張剤	ベーリンガー
プロトピック軟膏小児用(タクロリムス水和物)	[0.03%] 5g/本	アトピー性皮膚炎治療剤	アステラス
イダマイシン注(塩酸イダルビシン)	5mg/V	抗腫瘍性抗生物質製剤	ファイザー
エルシトニン注 20S ディスポ(エルカトニン)	20 エルカトニン単位/筒	骨粗鬆症治療剤	旭化成ファーマ
エンブレル皮下注用(エタネルセプト)	25mg/V	抗リウマチ剤	武田
カルセド注射用(塩酸アムルビシン)	20mg/V	抗腫瘍性抗生物質製剤	日本化薬
ノイアート静注用(人アンチトロンピン)	1,500 単位/V	血液凝固阻止剤	三菱ウェルファーマ
ピカーボン注	500mL/本	細胞外液補充液	味の素ファルマ
プレセデックス静注液「アボット」(塩酸デクスメデトミジン)	200μg/2mL/V	α ₂ 作動性鎮静剤	アボット
ブレペノン注シリンジ(塩酸モルヒネ)	100mg/10mL/筒	癌疼痛治療剤	武田

院内採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アイピーデイドライシロップ(トシル酸スプラタスト)	50mg/g	アレルギー性疾患治療剤	大鵬
MS コンチン錠(硫酸モルヒネ)	60mg/錠	持続性癌疼痛治療剤	塩野義
タガメット細粒(シメチジン)	200mg/g	H ₂ 受容体拮抗剤	住友
タケブロンカプセル(ランソプラゾール)	30mg/Cp	プロトンポンプ阻害剤	武田
デパケン錠(バルプロ酸ナトリウム)	100mg/錠	抗てんかん剤	協和醗酵
ドメナン錠(塩酸オザグレル)	100mg/錠	気管支喘息治療剤	キッセイ
パロチン錠(唾液腺ホルモン)	10mg/錠	唾液腺ホルモン	帝国臓器
オスバン 10%消毒剤(塩化ベンザルコニウム)	500mL/本	殺菌消毒剤	日本製薬
ブレオ S 軟膏(硫酸ブレオマイシン)	{0.5%} 5g/本	抗腫瘍性抗生物質外用剤	日本化薬
ケニセフ静注用(セフォジジムナトリウム)	1g/V	セフェム系抗生物質製剤	大鵬
注射用フィルデシン(硫酸ビンデシン)	1mg/V	抗悪性腫瘍剤	塩野義

院内在庫がなくなり次第、処方中止とします。

院外採用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アレジオンドライシロップ(塩酸エピナスチン)	10mg/g	アレルギー性疾患治療剤	ベーリンガー
クレストール錠(ロスバスタチンカルシウム)	2.5mg/錠	HMG-CoA 還元酵素阻害剤	塩野義
トラクリア錠(ボセンタン水和物)	62.5mg/錠	エンドセリン受容体拮抗薬	アクテリオン
バルトレックス顆粒(塩酸バラシクロビル)	{50%} 1g/包	抗ウイルス化学療法剤	GSK
ブイフェンド錠(ポリコナゾール)	50mg, 200mg/錠	深在性真菌症治療剤	ファイザー
小児用ムコソルバン DS(塩酸アンブロキソール)	15mg/g	気道潤滑去痰剤	帝人ファーマ
メデット錠(塩酸メトホルミン)	250mg/錠	経口糖尿病用剤	トーアエイヨー
フルタイド 200 ディスカス(プロピオン酸フルチカゾン)	200μg × 60 プリスター/個	吸入ステロイド喘息治療剤	GSK
ルリコンクリーム(ルリコナゾール)	10mg/g	抗真菌剤	科薬
ルリコン液(ルリコナゾール)	10mg/mL	抗真菌剤	科薬
リコネイト(ルリオクトコグアルファ)	1,000 単位/V	血液凝固第 Ⅲ 因子製剤	バクスター

製剤変更医薬品

医薬品名(成分名)		規格・単位		薬品分類	会社名
ウロカルンカプセル	ウロカルン錠	225mg/Cp	225mg/錠	尿路結石治療剤	日本新薬
ガスター注射用	ガスター注射液	20mg/A	20mg/2mL/A	H ₂ 受容体拮抗剤	アステラス
ハプトグロビン注 - ヨシトミ	ハプトグロビン注 - ヨシトミ(献血)	2,000 単位/100mL/V		血漿分画製剤	三菱ウェルファーマ
フルオレサイト注射液		5mL/A	5mL/V	蛍光眼底造影剤	アルコン
メイロン		250mL/瓶	250mL/袋	アシドーシス治療剤	大塚
ランタス注カート	ランタス注オブチクリック	300 単位/3mL/筒		持効型溶解インスリンアナログ製剤	アベンティス

旧製剤の院内在庫がなくなり次第，処方変更とします。

名称変更医薬品

医薬品名(成分名)		規格・単位		薬品分類	会社名
アスバラ K 注射液	アスバラカリウム注	10mEq/10mL/A		カリウム補給剤	田辺
アトクイック注シリンジ	アトロピン注シリンジ「テルモ」	0.5mg/1mL/筒		鎮痙剤	テルモ
エピクイック注シリンジ	エピネフリン注シリンジ「テルモ」	1mg/1mL/筒		カテコールアミン系製剤	テルモ
K.C.L.注射液(1号)	K.C.L.点滴液	40mEq/20mL/A		カリウム補給剤	丸石
メディジェクト K	KCL 注シリンジ「テルモ」	20mEq/20mL/筒		カリウム補給剤	テルモ
静注用リドクイックシリンジ	リドカイン静注用シリンジ「テルモ」	100mg/5mL/筒		抗不整脈剤	テルモ

旧製剤の院内在庫がなくなり次第，処方変更とします。

院外販売中止医薬品

医薬品名(成分名)		規格・単位		薬品分類	会社名
シナクリン点鼻液(フルニソリド)		[0.025%] 9mL/瓶		鼻過敏症治療剤	大塚

9 月 30 日付で，処方中止とします。

新規院内処方医薬品添付文書情報

* カペシタピン Capecitabine

【商】ゼローダ Xeloda 中外

内用：錠剤[㊟] 1錠中 300mg [388.3 円/錠]

【警】 テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤との併用により、重篤な血液障害等の副作用が発現するおそれがあるので、併用を行わないこと。本剤とワルファリンカリウムとの併用により、血液凝固能検査値異常、出血が発現し死亡に至った例も報告されている。これらの副作用は、本剤とワルファリンカリウムの併用開始数日後から本剤投与中止後1ヶ月以内の期間に発現しているので、併用する場合には血液凝固能検査を定期的に行い、必要に応じて適切な処置を行うこと。本剤は緊急時に十分な対応が可能な施設及び癌化学療法に十分な経験を持つ医師のもとで、使用上の注意等を遵守の上、投与すること。

【禁】 本剤の成分又はフルオロウラシルに対し過敏症の既往歴のある患者、テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤投与中の患者及び投与中止後7日以内の患者、重篤な腎障害のある患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【効】 手術不能又は再発乳癌

【用】 体表面積にあわせて次の投与量を朝食後と夕食後30分以内に1日2回、21日間連日投与し、その後7日間休薬する。これを1コースとして投与を繰り返す。

〔体表面積：1回用量〕1.31m²未満：900mg，1.31m²以上 1.64m²未満：1,200mg，1.64m²以上：1,500mg

【副】 脱水症状，手足症候群，心障害，肝障害，黄疸，腎障害，骨髄抑制，口内炎，間質性肺炎，腸炎，精神神経系障害，溶血性貧血，感覚異常，嗜眠，錯乱，脳症，運動失調，構音障害，平衡障害，協調運動異常，めまい，頭痛，味覚障害，不眠，上腹部痛，消化不良，鼓腸放屁，食道炎，十二指腸炎，大腸炎，胃腸出血，嘔気，食欲不振，嘔吐，便秘，腹痛，軟便，口渇，胃炎，胸痛，下肢浮腫，心筋症，心筋虚血，頻脈，咳嗽，呼吸困難，リンパ球・ヘモグロビン・血小板減少，貧血，爪の異常，紅斑性発疹，皮膚亀裂，

光線過敏症，放射線照射リコール症候群，色素沈着，脱毛，皮膚乾燥，瘙痒感，皮膚剥離，落屑，皮膚炎，眼障害，流涙増加，AST・ALT・Al-P 上昇，クレアチニン上昇，体重減少，無力症，脱力，倦怠感，四肢痛，電解質異常，血糖値上昇，発熱，胸痛，疲労，関節痛，筋痛，背痛

【妊】 不可 【授】 授乳回避

【未・新・乳・幼・小】 未確立

* ランソプラゾール Lansoprazole

【商】 タケプロン OD Takepron OD 武田

内用：錠剤(口腔内崩壊錠) 1錠中 30mg

[245.8 円/錠]

【禁】 本剤の成分に対する過敏症の既往歴のある患者

【効】 胃潰瘍，十二指腸潰瘍，吻合部潰瘍，逆流性食道炎，Zollinger-Ellison 症候群，胃潰瘍又は十二指腸潰瘍におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助

【用】 胃潰瘍，十二指腸潰瘍，吻合部潰瘍，Zollinger-Ellison 症候群：1日1回30mgを投与する。胃潰瘍，吻合部潰瘍では8週間まで，十二指腸潰瘍では6週間までの投与とする。逆流性食道炎：1日1回30mgを投与する。8週間までの投与とする。再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法においては，1日1回15mgを投与するが，効果不十分の場合は，1日1回30mgを投与することができる。胃潰瘍又は十二指腸潰瘍におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助：ランソプラゾールとして1回30mg，アモキシシリンとして1回750mg，クラリスロマイシンとして1回200mgの3剤を同時に1日2回，7日間投与する。クラリスロマイシンは1回400mg，1日2回を上限とする。

【副】 アナフィラキシー反応，ショック，汎血球減少，無顆粒球症，溶血性貧血，顆粒球・血小板減少，貧血，肝機能障害，Lyell 症候群，Stevens-Johnson 症候群，偽膜性大腸炎，間質性肺炎〔胃潰瘍，十二指腸潰瘍，吻合部潰瘍，逆流性食道炎，Zollinger-Ellison 症候群〕発疹，瘙痒，AST・ALT・Al-P・LDH・γ-GTP 上昇，好

酸球増多，便秘，下痢，口渇，腹部膨満感，悪心，嘔吐，食欲不振，腹痛，カンジダ症，口内炎，舌炎，味覚異常，頭痛，眠気，うつ状態，不眠，めまい，振戦，発熱，総コレステロール・尿酸上昇，女性化乳房，かすみ目，浮腫，脱力感，倦怠感，舌・口唇のしびれ感，四肢のしびれ感，関節痛，筋肉痛，脱毛〔胃潰瘍又は十二指腸潰瘍におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助〕軟便，下痢，味覚異常，腹部膨満感，悪心，嘔吐，腹痛，便秘，口内炎，舌炎，口渇，胸やけ，胃食道逆流，食欲不振，AST・ALT・ALP・LDH・ γ -GTP・ビリルビン上昇，好中球減少，好酸球・白血球増多，貧血，血小板減少，発疹，掻痒，頭痛，眠気，めまい，不眠，しびれ感，うつ状態，トリグリセライド，尿酸上昇，総コレステロール上昇・低下，尿蛋白陽性，尿糖陽性，倦怠感

【妊】有益のみ

【授】回避，やむを得ない場合は授乳回避

【小】未確立

＊ボリコナゾール Voriconazole

【商】ブイフェンド Vfend ファイザー

内用：錠剤(丸) 1錠中 50mg [1,212.1 円/錠]
1錠中 200mg [3,713.3 円/錠]

【警】本剤の使用にあたっては，感染症の治療に十分な知識と経験を持つ医師又はその指導のもとで，重症又は難治性の真菌感染症患者を対象に行うこと。重篤な肝障害があらわれることがあるので，投与にあたっては，観察を十分にいき，肝機能検査を定期的に行うこと。異常が認められた場合には投与を中止し，適切な処置を行うこと。羞明，霧視，視覚障害等の症状があらわれることがあるので，本剤投与中には，自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないように十分注意すること。

【禁】リファンピシン・リファブチン・エファビレンツ・リトナビル・カルバマゼピン・長時間作用型バルビツール酸誘導体・ピモジド・硫酸キニジン・シサプリド・麦角アルカロイド(エルゴタミン，ジヒドロエルゴタミン)を投与中の患者，本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者，妊婦又は妊娠している可能性のある患者

【効】下記の重症又は難治性真菌感染症：侵襲

性アスペルギルス症，肺アスペルギローマ，慢性壊死性肺アスペルギルス症，カンジダ血症，食道カンジダ症，カンジダ腹膜炎，気管支・肺カンジダ症，クリプトコックス髄膜炎，肺クリプトコックス症，フサリウム症，スケドスポリウム症

【用】成人(体重 40kg 以上)には初日に 1 回 300mg を 1 日 2 回，2 日目以降は 1 回 150mg 又は 1 回 200mg を 1 日 2 回食間投与する。初日投与量の上限は 1 回 400mg を 1 日 2 回，2 日目以降投与量の上限は 1 回 300mg を 1 日 2 回までとする。体重 40kg 未満の患者には，初日は 1 回 150mg を 1 日 2 回，2 日目以降は 1 回 100mg を 1 日 2 回食間投与する。2 日目以降の投与量は 1 回 150mg を 1 日 2 回まで増量できる。

【副】アナフィラキシー様反応，Stevens-Johnson 症候群，Lyell 症候群，多形紅斑，肝障害，心電図 QT 延長，心室性頻脈，心室細動，不整脈，完全房室ブロック，心不全，腎障害，呼吸窮迫症候群，ギラン・バレー症候群，血液障害，偽膜性大腸炎，痙攣 白血球・血小板減少症，貧血，リンパ節症，動悸，心嚢液貯留，肺水腫，脚ブロック，聴覚過敏，耳鳴，回転性眩暈，ADH 不適合分泌，副腎皮質機能不全，甲状腺機能亢進症・低下症，羞明，霧視，視覚障害，眼の異常感，調節障害，色盲，複視，眼瞼浮腫，流涙増加，縮瞳，視神経乳頭浮腫，光視症，網膜滲出物，網膜出血，網膜毛細血管瘤，網膜裂孔，網膜血管炎，黄視症，眼瞼炎，視神経炎，強膜炎，角膜混濁，視神経萎縮，悪心，嘔吐，腹部膨満，口唇のひび割れ，便秘，下痢，消化不良，胃潰瘍，痔核，イレウス，口唇乾燥，口唇粘膜脱落，口唇炎，逆流性食道炎，口内炎，腹痛，胃腸炎，十二指腸炎，歯肉炎，舌炎，腭炎，舌浮腫，腹膜炎，無力症，胸痛，胸部圧迫感，異常感，倦怠感，末梢性浮腫，発熱，口渇，悪寒，注射部位反応/炎症，インフルエンザ症候群，胆嚢炎，胆石症，肝腫大，副鼻腔炎，食欲不振，高血糖，高カリウム血症，低カリウム血症，低血糖症，高コレステロール血症，背部痛，四肢痛，関節炎，頭痛，認知不能症，健忘，浮動性めまい，味覚異常，感覚減退，意識レベルの低下，傾眠，会話障害，振戦，視野欠損，錯感覚，失調，脳浮腫，筋緊張亢進，眼振，失神，注視痙攣，錐体外路症候群，不眠症，錯乱状態，

幻覚，幻聴，幻視，うつ病，不安，激越，血尿，アルブミン尿，喀血，皮膚乾燥，湿疹，紅斑，結節性紅斑，発疹，毛髪変色，光線過敏性反応，多汗，痒痒症，丘疹，皮膚落屑，顔面浮腫，斑状丘疹状皮疹，脱毛症，剥脱性皮膚炎，紫斑，固定薬疹，乾癬，蕁麻疹，血管浮腫，皮膚エリテマトーデス，潮紅，低血圧，血栓性静脈炎，静脈炎，リンパ管炎，ALT・AST・Al-P・γ-GTP 増加，血中ビリルビン・血中カルシウム・血中クレアチニン・LDH 増加，血中カリウム減少・増加，血圧低下・上昇，フィブリン D ダイマー・血清 FDP・アミラーゼ・好酸球増加，血小板数減少，BUN 増加

【妊】不可 【授】未確立，有益のみ

【小】未確立

* 乾燥 BCG Freeze-dried BCG

【商】イムノブラダー Immunobladder

日本 BCG

外用：(調) 1 瓶中 40mg [11,677.8 円/瓶]

【警】 本剤の臨床試験において，カテーテル挿入等により外傷を生じた後の BCG 投与による播種性 BCG 感染に起因したと考えられる死亡例が認められており，米国においても同様の症例が報告されている。したがって，経尿道的切除術(TUR-Bt)，生検及びカテーテル挿入により外傷を生じた直後には本剤を投与すべきではなく，外傷の治癒の状態を観察しながら，7 日から 14 日間間隔をあけて投与すること。また，本剤の投与は緊急時に十分措置できる医療施設及び膀胱癌の治療に十分な経験を持つ医師の下で，本剤の投与が適切と判断される症例についてのみ投与すること。 本剤の臨床試験において，咳嗽及び皮疹等を伴ったアナフィラキシー様症状に起因したと考えられる死亡例が認められているので，このような症状が現れた場合は本剤の投与を中止し，直ちに抗ヒスタミン剤又はステロイド剤の投与とともに抗結核剤による治療が必要である。 本剤は生菌製剤であり，米国において院内感染の報告があるので，十分に注意し適切に取扱うこと。

【禁】 AIDS・白血病・リンパ腫等併発疾患により又は抗癌療法(細胞傷害性薬剤療法，放射線照射等)により免疫抑制状態にある患者及び先天性又は後天性免疫不全の患者，HIV キャリア及び免

疫抑制量のステロイド剤又は他の免疫抑制剤を投与している患者，活動性の結核症が明白である患者，熱性疾患・尿路感染症又は肉眼的血尿が存在している患者，妊婦又は妊娠している可能性のある婦人，BCG 全身性過敏症反応の既往がある患者

【効】表在性膀胱癌，膀胱上皮内癌

【用】1 本(40mg)に添付の生理食塩液 1mL を加え 40mg/mL の懸濁液とする。これに生理食塩液 19.5mL を更に加え均等な BCG 希釈液を調製する。尿道カテーテルを膀胱内に無菌条件下で挿入し，残尿を排出した後，80mg の BCG を含有している希釈液を同カテーテルより膀胱内にできるだけゆっくりと注入し，2 時間膀胱内に保持するようにつとめる。これを週 1 回 8 週間繰り返す。

【副】播種性 BCG 感染，間質性肺炎，全身性遅延型過敏性反応，萎縮膀胱，精巢上体炎，ライター症候群 排尿痛，頻尿，肉眼的血尿，尿蛋白，尿沈渣，尿潜血，尿道痛，尿混濁，排尿困難，膀胱タンポナーデ，尿道狭窄，残尿感，膀胱容量減少，切迫性尿失禁，肉芽腫性膀胱炎，尿糖，肉芽腫性前立腺炎，陰茎浮腫，腎不全，血清クレアチニン・BUN 上昇，Al-P 上昇，肝機能障害，AST・ALT・γ-GTP・LDH 上昇，白血球数増加・減少，ヘマトクリット減少，赤血球沈降速度異常，赤血球数増加・減少，血色素量・血小板数減少，血清総蛋白低下，血清電解質異常，発疹，皮疹，蕁麻疹，頭痛，頭重感，倦怠感，肺炎，咳嗽，悪心・嘔吐，食欲不振，下痢，口内炎，ストレス性胃潰瘍による出血，発熱，悪寒戦慄，体熱感，関節痛，腰痛，筋肉痛，下腹部痛，下腹部重圧感，鼠径部リンパ節腫脹，結膜炎，消耗，衰弱

【妊】不可 【授】授乳注意

【小】未確立

【貯】10 以下

* プロピオン酸ベクロメタゾン

Beclometasone Dipropionate

【商】キューバル Qvar 大日本

外用：吸入剤 1 瓶(8.7g)中 7mg

(1 噴霧 50μg) [3,194.3 円/瓶]

【禁】有効な抗菌剤の存在しない感染症・全身の真菌症の患者，本剤の成分に対して過敏症の

既往歴のある患者 結核性疾患・呼吸器感染症の患者、高血圧の患者

【効】気管支喘息

【用】成人には、1回 100 μ g を1日2回口腔内に噴霧吸入する。小児には、1回 50 μ g を1日2回口腔内に噴霧吸入する。1日の最大投与量は、成人では800 μ g、小児では200 μ gを限度とする。

【副】蕁麻疹、紅斑、掻痒、浮腫、咳、咽喉頭疼痛・違和感、口渇、嘔声、気管支喘息の増悪、口内炎、咽喉頭刺激感・異物感・発赤、感染、口腔カンジダ症、味覚障害、呼吸器カンジダ症、口腔・咽頭アスペルギルス症、肺好酸球増多症、悪心、嘔吐、下痢、腹痛、食欲不振、AST・ALT・ γ -GTP・Al-P 上昇、高血圧、動悸、関節痛、筋肉痛、脱力感、気分不良、頭痛、倦怠感、憂鬱感、コルチゾール減少、鼻出血、尿糖、白血球増多、リンパ球減少、尿潜血、鼻炎、嗅覚障害

【妊】有益のみ

【未・新・乳・幼】4歳以下：未確立、慎重

【小】長期・大量投与注意

*シスプラチン Cisplatin

【商】アイエーコール IA-call 日本化薬

注射：(毒) 1瓶中 50mg [49,865 円/瓶]

【警】本剤は、緊急時に十分に措置できる医療施設において、癌化学療法及び肝動注化学療法に十分な経験を持つ医師のもとで、本剤の投与が適切と判断される症例についてのみ投与すること。

【禁】重篤な腎障害のある患者、本剤又は他の白金を含む薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人肝障害度(Liver damage)C等の高度に肝機能が低下した患者

【効】肝細胞癌

【用】100mgあたり 70mLの生理食塩液を加えて溶解し、65mg/m²を肝動脈内に挿入されたカテーテルから、1日1回肝動脈内に20～40分間で投与し、4～6週間休薬する。これを1クールとし、投与を繰り返す。

【副】急性腎不全、骨髄抑制、血小板減少、劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、心筋梗塞、狭心症、うっ血性心不全、不整脈、肺結核、聴覚障害、ショック、アナフィラキシー様症状、乳頭浮腫、

球後視神経炎、皮質盲、脳梗塞、溶血性尿毒症症候群、溶血性貧血、間質性肺炎、SIADH、消化管出血、消化性潰瘍、消化管穿孔、急性膵炎、高血糖、糖尿病悪化、横紋筋融解症 食欲不振、悪心・嘔吐、下痢、便秘、上腹部痛、口内炎、腹痛、胃不快感、腹部不快感、腹部膨満、しゃっくり、十二指腸潰瘍、麻痺性イレウス、口唇炎、発熱、倦怠感、頭痛、腹水、発疹、ほてり、脱毛症、掻痒症、色素沈着障害、背部痛、不眠症、浮動性めまい、血圧上昇、味覚異常、失見当識、末梢神経障害、表出性言語障害、意識レベル低下、痙攣、レルミット徴候、鼻咽頭炎、咽頭炎、鼻出血、呼吸困難、動悸、頻脈、心電図異常、レイノー現象、血圧低下、血中ナトリウム・カリウム異常、血中塩化物異常、血中カルシウム・リン酸塩・マグネシウム異常、テタニー、尿中蛋白陽性、尿糖陽性、高尿酸血症、フィブリン分解産物増加、プロトロンビン増加、疼痛、全身浮腫、胸痛、脱水

【妊】不可 【授】授乳中止

【小】未確立

*アデノシン Adenosine

【商】アデノスキャン Adenoscan 第一

注射：液剤 1瓶(20mL)中 60mg [14,700 円/瓶]

【警】本剤投与により下記の副作用等が発現するおそれがあるので、蘇生処置ができる準備をしておくこと。負荷試験中(本剤投与開始から心筋シンチグラフィ施行終了時まで)は血圧及び心電図の継続した監視を行い、注意深く患者を観察すること。また、検査の継続が困難と判断した場合には検査を中断し、本剤投与中であれば直ちに投与を中止すること。1)致死的心停止、心室頻拍、心室細動、非致死性心筋梗塞を発現することがある。特に不安定狭心症患者では、その危険性が増大するおそれがあるので、薬物治療によっても安定化しない不安定狭心症の患者には投与しないこと。2)房室ブロックが発現することがある。特に房室ブロックを有している患者では、症状が増悪するおそれがある。3)過度の血圧低下を起こすことがある。特に交感神経機能異常、狭窄性心臓弁疾患、心膜炎や心膜滲出、脳血流不全を伴う狭窄性頸動脈疾患、未処置の循環血液量減少等の患者では症状が増悪するおそれがある。4)呼吸困難が発現

することがある。特に慢性閉塞性肺疾患(肺気腫、慢性気管支炎等)のある患者ではその危険性が増大するおそれがあり、負荷試験後の回復期間も含め、注意深く観察すること。喘息等の気管支攣縮性肺疾患のある患者、その既往のある患者あるいはその疑いのある患者に本剤が投与された場合、呼吸停止を含む重篤な呼吸障害を発症することがあるので、これらの疾患に関する病歴調査を必ず行い、疑わしい場合は本剤を投与しないこと。

【禁】薬物治療によっても安定化しない不安定狭心症の患者、度又は度房室ブロックのある患者(人工ペースメーカーが装着されている患者を除く)、洞不全症候群又は症候性の著しい洞性徐脈のある患者(人工ペースメーカーが装着されている患者を除く)、QT延長症候群の患者、高度な低血圧のある患者、代償不全状態にある心不全の患者、喘息等の気管支攣縮性肺疾患のある患者・その既往のある患者あるいはその疑いのある患者、アデノシンに対し過敏症の既往歴のある患者

【効】十分に運動負荷をかけられない患者において心筋血流シンチグラフィによる心臓疾患の診断を行う場合の負荷誘導

【用】120 μ g/kg/分を6分間持続静注する(総投与量0.72mg/kg)。

【副】心停止、心室頻拍、心室細動、心筋梗塞、過度の血圧低下、洞房ブロック、完全房室ブロック、呼吸障害、肺浮腫、脳血管障害、胸痛・胸部不快感・心窩部不快感、血圧低下、ST-T変化、房室ブロック、胸部・心窩部圧迫感、洞停止、徐脈、頻脈、心室性期外収縮、上室性期外収縮、心房細動、洞房ブロック、脚ブロック、動悸、血圧上昇、QT延長、QRS幅拡大、冠動脈攣縮、息切れ・呼吸困難、頻呼吸、咳、鼻炎、気管支痙攣、皮疹、紅斑、めまい、あくび、不安・神経過敏、異常感覚、振戦、傾眠、胃腸不快感、口渇、腹痛、腹部不快感、嘔気・嘔吐、嚥下困難、歯痛、赤血球減少、白血球増加・減少、血小板増加・減少、ヘモグロビン減少、ヘマトクリット値低下、ALT・Al-P・総ビリルビン上昇、BUN・クレアチニン上昇、潮紅、熱感、頭痛・頭重感、喉・首・顎の不快感、倦怠感、無力症、気分不良、背部痛、背部・上肢・下肢不快感、発汗・冷汗、異常感、眼のかすみ、鼻

腔・口内異常感覚、耳痛、味覚倒錯、総コレステロール上昇・減少、CK上昇、弱視、眼痛

【妊】未確立、有益のみ

【小】未確立

*ダナパロイドナトリウム Danaparoid Sodium

【商】オルガラン Orgaran オルガノン

注射：液剤

1管(1mL)中1,250抗第Xa因子活性単位

[1,571円/管]

【禁】出血している患者(血友病、血小板減少性紫斑病、消化管潰瘍、脳内出血のある患者)、血液透析が必要な患者、重篤な肝障害のある患者、本剤又は亜硫酸塩に対し過敏症の患者、出血する可能性が高い患者(急性細菌性心内膜症、重症高血圧症、糖尿病性網膜症)、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人、ヘパリン起因性血小板減少症(HIT)の既往歴のある患者でヘパリン抗体と本剤との交差反応性のある患者、脳・脊椎・眼科手術又は頭部外傷後日の浅い患者

【効】DIC

【用】1回1,250抗第Xa因子活性単位を12時間ごとに静注する(1日量2,500抗第Xa因子活性単位)。

【副】アナフィラキシー様症状、血小板減少症、ショック、めまい、発疹、局所・全身の過敏反応、単球増多、赤血球数・血色素量・ヘマトクリット・白血球数減少、好酸球・好塩基球増多、総ビリルビン・AST・ALT・ γ -GTP・Al-P・LAP・LDH上昇、BUN上昇、尿蛋白、尿潜血、クレアチニン上昇、中性脂肪上昇、血腫、出血

【妊】未確立、有益のみ

【授】回避、やむを得ない場合は授乳回避

【未・新・乳・幼・小】未確立

*トラスツズマブ Trastuzumab

【商】ハーセプチン Herceptin 中外

注射：1瓶中150mg

[78,074円/瓶]

【警】心不全等の重篤な心障害があらわれ、死亡に至った例も報告されているので、必ず本剤投与開始前には、患者の心機能を確認すること。また、本剤投与中は適宜心機能検査(心エコー等)を行い患者の状態(心駆出率の変動を含む)を十分に観察すること。特に以下の患者については、心機能検査(心エコー等)を頻回に行うこ

と。1)アントラサイクリン系薬剤を投与中の患者又はその前治療歴のある患者 2)胸部へ放射線を照射中の患者 3)心不全症状のある患者 4)冠動脈疾患(心筋梗塞, 狭心症等)の患者又はその既往歴のある患者 5)高血圧症の患者又はその既往歴のある患者 本剤投与中又は本剤投与開始後 24 時間以内に多くあらわれる Infusion reaction のうち, アナフィラキシー様症状, 肺障害等の重篤な副作用(気管支痙攣, 重度の血圧低下, 急性呼吸促進症候群等)が発現し死亡に至った例が報告されている。これらの副作用は, 特に安静時呼吸困難(肺転移, 循環器疾患等による)のある患者又はその既往歴のある患者において重篤化しやすいので, 患者の状態を十分に観察しながら慎重に投与すること。上記 1, 2 の副作用が報告されているので, 本剤は緊急時に十分な対応が可能な施設及び癌化学療法に十分な経験を持つ医師のもとで, 使用上の注意等を遵守の上, 投与すること。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 重篤な心障害のある患者

【効】HER2 過剰発現が確認された転移性乳癌

【用】1 日 1 回, 初回投与時には 4mg/kg を, 2 回目以降は 2mg/kg を 90 分以上かけて 1 週間間隔で点滴静注する。

【副】心障害, アナフィラキシー様症状, 間質性肺炎・肺障害, 白血球・好中球・血小板減少, 貧血, 肝不全, 黄疸, 肝炎, 肝障害, 腎障害, 昏睡, 脳血管障害, 脳浮腫, 敗血症 無力症, 頭痛, 運動失調, 不全麻痺, しびれ, 異常感覚, めまい, 不眠, 傾眠, 不安, うつ病, 筋緊張亢進, ニューロパシー, 思考異常, 嘔気, 嘔吐, 口内炎, 腸炎, 下痢, 腹痛, 食欲不振, 便秘, 消化不良, 高血圧, 血管拡張, 頻脈, 低血圧, 動悸, 呼吸困難, 鼻炎, 咳増加, 鼻出血, 喘息, 咽頭炎, 副鼻腔炎, 胸水, プロトロンビン減少, 皮膚炎, 発疹, 痒痒感, 脱毛, 爪疾患, 発汗, 痤瘡, 蕁麻疹, 皮膚乾燥, 斑状丘疹状皮疹, 腎機能異常, 疼痛, 疲労, 胸痛, 背部痛, 筋肉痛, 末梢性浮腫, 関節痛, 骨痛, 感染症, 倦怠感, 浮腫, 頸部痛, 難聴, 尿路感染症

【妊】未確立, 有益のみ 【授】授乳回避

【未・新・乳・幼・小】未確立

【貯】2~8

* ボリコナゾール Voriconazole

【商】ブイフェンド Vfend ファイザー

注射: 1 瓶中 200mg [12,750 円/瓶]

【警】本剤の使用にあたっては, 感染症の治療に十分な知識と経験を持つ医師又はその指導のもとで, 重症又は難治性の真菌感染症患者を対象に行うこと。重篤な肝障害があらわれることがあるので, 投与にあたっては, 観察を十分に行い, 肝機能検査を定期的に行うこと。異常が認められた場合には投与を中止し, 適切な処置を行うこと。羞明, 霧視, 視覚障害等の症状があらわれることがあるので, 本剤投与中には, 自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないように十分注意すること。

【禁】リファンピシン・リファブチン・エファビレンツ・リトナビル・カルバマゼピン・長時間作用型バルピツール酸誘導体・ピモジド・硫酸キニジン・シサプリド・麦角アルカロイド(エルゴタミン, ジヒドロエルゴタミン)を投与中の患者, 本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者, 妊婦又は妊娠している可能性のある患者 重度の腎機能障害のある患者(クレアチニンクリアランス < 30mL/分)

【効】下記の重症又は難治性真菌感染症: 侵襲性アスペルギルス症, 肺アスペルギローマ, 慢性壊死性肺アスペルギルス症, カンジダ血症, カンジダ腹膜炎, 気管支・肺カンジダ症, クリプトコックス髄膜炎, 肺クリプトコックス症, フサリウム症, スケドスポリウム症

【用】初日は 1 回 6mg/kg を 1 日 2 回, 2 日目以降は 1 回 3mg/kg 又は 1 回 4mg/kg を 1 日 2 回点滴静注する。

【副】アナフィラキシー様反応, Stevens-Johnson 症候群, Lyell 症候群, 多形紅斑, 肝障害, 心電図 QT 延長, 心室性頻脈, 心室細動, 不整脈, 完全房室ブロック, 心不全, 腎障害, 呼吸窮迫症候群, ギラン・バレー-症候群, 血液障害, 偽膜性大腸炎, 痙攣 白血球・血小板減少症, 貧血, リンパ節症, 動悸, 心嚢液貯留, 肺水腫, 脚ブロック, 聴覚過敏, 耳鳴, 回転性眩暈, ADH 不適合分泌, 副腎皮質機能不全, 甲状腺機能亢進症・低下症, 羞明, 霧視, 視覚障害, 目の異常感, 調節障害, 色盲, 複視, 眼瞼浮腫, 流涙増加, 縮瞳, 視神経乳頭浮腫, 光視症, 網膜滲出物, 網膜出血, 網膜毛細血管瘤, 網膜裂

孔，網膜血管炎，黃視症，眼瞼炎，視神經炎，強膜炎，角膜混濁，視神經萎縮，惡心，嘔吐，腹部膨滿，口唇のひび割れ，便秘，下痢，消化不良，胃潰瘍，痔核，イレウス，口唇乾燥，口唇粘膜脱落，口唇炎，逆流性食道炎，口内炎，腹痛，胃腸炎，十二指腸炎，歯肉炎，舌炎，腭炎，舌浮腫，腹膜炎，無力症，胸痛，胸部圧迫感，異常感，倦怠感，末梢性浮腫，発熱，口渇，悪寒，注射部位反応/炎症，インフルエンザ症候群，胆嚢炎，胆石症，肝腫大，副鼻腔炎，食欲不振，高血糖，高カリウム血症，低カリウム血症，低血糖症，高コレステロール血症，背部痛，四肢痛，関節炎，頭痛，認知不能症，健忘，浮動性めまい，味覚異常，感覚減退，意識レベルの低下，傾眠，会話障害，振戦，視野欠損，錯感覚，失調，脳浮腫，筋緊張亢進，眼振，失神，注視痙攣，錐体外路症候群，不眠症，錯乱状態，幻覚，幻聴，幻視，うつ病，不安，激越，血尿，アルブミン尿，喀血，皮膚乾燥，湿疹，紅斑，結節性紅斑，発疹，毛髪変色，光線過敏性反応，多汗，癢痒症，丘疹，皮膚落屑，顔面浮腫，斑状丘疹状皮疹，脱毛症，剥脱性皮膚炎，紫斑，固定薬疹，乾癬，蕁麻疹，血管浮腫，皮膚エリテマトーデス，潮紅，低血圧，血栓性静脈炎，静脈炎，リンパ管炎，ALT・AST・Al-P・ γ -GTP 増加，血中ビリルビン・血中カルシウム・血中クレアチニン・LDH 増加，血中カリウム減少・増加，血圧低下・上昇，フィブリン D ダイマー・血清 FDP・腭アミラーゼ・好酸球増加，血小板数減少，BUN 増加

【妊】不可 【授】未確立，有益のみ

【小】未確立